

第二回 適性検査型入試 検査Ⅰ 解答・解説

解答

〔問題1〕

時間の使い方を自分で決めず、生活に意味を見出せないまま時間が過ぎた後に、〈古い〉だけが残るような、人生をつまらなくする（生き方）（五十九字）

解説

〔問題1〕

次の四つの観点をすべて満たすと正解とみなす。

- ・ 自分の時間をどうするか、自分で決めない
- ・ 生活に意味を見出せない
- ・ 時間が過ぎた後に、〈古い〉だけが残る
- ・ 人生をつまらなくする（つまらない人生を送る）

資料1では「子どもたちだけが自分は何を探しているか、わかっている」と述べられている。ここから「あの人たち」は何を探しているか、わかっていない、と判断できる。この表現は資料2の「自分の時間をどうするか、自分で決めなかった」という言葉にあたると考えられる。また、自分で決めなかった結果、どうなるか本文を読み進めると、生活に意味を見出せないこと、〈古い〉だけが残ることが述べられている。〈古い〉だけが残る生き方とは人生とをつまらなくする生き方であるという説明を加え、解答を作成する。

解答

〔問題2〕

時間を無駄に使うことによって手に入れたもの。（二十二字）

解説

資料2の文章の末に、愛をこめ、意味を見出し、自分しか作ることのできない〈財産〉としての毎日を過ごしたい、と述べられている一方で、資料1の文章の末では無駄に時間を使ったからこそ、かけがえのなさが生まれると書かれている。資料2の〈財産〉は資料1のかけがえのなさにあたりと考えると、解答を導くことができる。

解答例

〔問題3〕

資料1では、子どもたちが人形のために時間を使っていることを例に、一見無駄にも見える目に見えない時間の使い方が、かけがえのない有効性を生むと述べられており、資料2では、若い修練女たちの草取りの時間を例に、自分の時間をどうするか、自分で決めることで、自分だけの大切な日々を過ごせると述べられている。

これをふまえ私は、私にとって「財産」と呼ぶことができる時間とは、家族と過ごす時間であると考えた。なぜならば、家族と過ごす時間は当たり前のものであり、取るにたらないものと思われるが、有限であり、自分にか作ることのできない貴重な時間であると感じたからだ。

この時間を大切にするために私は、自分の気持ちを伝えていくこと、また、家族と一緒に過ごす時間を作ることを意識したいと考えている。特に、家族全員で晩ご飯を食べ、話し合う時間を大切にしたい。今日と同じ日常が明日も続いていくことを決まりきったことと考えるのではなく、たとえば、感謝の一言や、謝罪の一言を後回しにせず、その場で口に出し、たとえ大した話題がなくても家族がそろっている空間で時間を過ごしたい。家族と晩ご飯を食べる、という当たり前の時間を大切にすることを意識し、かけがえのない私の人生の財産にするために、少し恥ずかしいが、まずは今日の晩ご飯の時間に、親の応援のおかげで、無事に入試を受けられたという、感謝の気持ちを言葉にすることから始めようと思う。(六百文字 ※改行によるみなし文字数を含める)

解答のポイント

- ① 資料1・資料2から要点を抜き出し、字数制限内に要約できている。
- ② 資料1・資料2の要点をふまえ、想いを具体的に書くことができている。

解説

一見無駄にも見える目に見えない時間の使い方がかけがえのない有効性を生むこと、自分の時間をどうするか自分で決めることが人生をつまらなくも、意味あるものにもする、という2つの主旨について解答すること。解答例では、家族との晩ご飯の時間が、決まりきったことではなく、有限であり、また、時間を費やすこと自体が大切なのであるということを見たとした。その他、友人との何ということもない時間や、勉強の時間など、繰り返し返されることに違和感を持たない時間について具体的に書かれていれば正解とする。資料1と資料2、それぞれの内容に関連づけた体験談を、具体的に記して解答すること。模範解答では、第三段落部分に字数を割いているが、第二段落で、財産と呼ぶことができる時間について字数を割いても構わない。